

交通浄化のこれまでの活動のご紹介



ゾーン30 ワークショップ

「ゾーン30」を推進するために、玉川地区の交通安全の課題を発見したり、交通安全活動のアイデアを考えたりするワークショップを実施。(世田谷区共催)




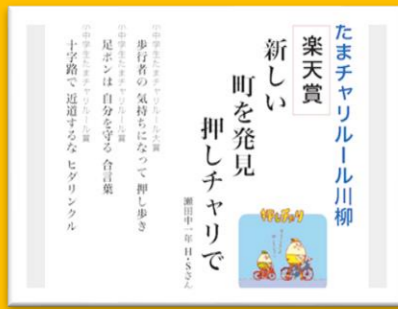
ゾーン30 除幕式/記念式典

「ゾーン30」の開始にあわせ、子どもたちと規制標識の除幕式を行ななど、ゾーン30をもっと多くの人に守ってもらえるように毎年2月に記念式典を開催。



たまチャリルールキャンペーン

街なかで行き交う人にも「たまチャリルール」を知ってもらうために、自転車パレードや啓発動画を作成。
(カタリストBA協力)たまチャリ動画▶ 



たまチャリルール川柳大賞

「たまチャリルール」に親子で関心を持ってもらうために川柳を募集。地元企業や団体の協力を得て大賞などを決定。
(二子玉川小学校協力)



チビにこレンジャー

子ども達が運転手に安全を呼びかけたり、大人にたまチャリルールを教えたりする事を通して、交通安全を学ぶプログラムを実施。(二子玉川小学校PTA共催)



世田谷総合高校による立哨活動

「ゾーン30」や「たまチャリルール」を多くの人に知ってもらうために、高校生と行う立哨活動を実施。
(世田谷総合高校の奉仕の授業)



花みずき通りの整備の提案

花みずき通りを安全に自転車と歩行者が行き交うことができるようになるための整備案を提案。
(世田谷区・玉川警察署などととも)



セグウェイツアーin 二子玉川

セグウェイツアー参加者と一緒にみちのコミュニケーションを深めることによって交通安全を伝える取り組みを実施。
(セグウェイジャパン・東急電鉄共催)



かるがもプロジェクト

「横断歩道をもっと安全に！」を目標に、信号の無い横断歩道でも安全に渡るためのワークショップや調査を実施中。
(国土館大学・世田谷区とともに)

二子玉川をもっと安全にしたい!

ふたごたまご通信

Vol.26
2021
Early spring



保護者の皆さんにウェブアンケートをしました

私たちは二子玉川を中心に、町会・学校・大学・警察・世田谷区等が共に手を携え、まちの交通安全のため活動をしている「二子玉川地区交通環境浄化推進協議会(略称、交通浄化)」です。今年度、二子玉川小学校で実施しました「かるがもプロジェクト」のウェブアンケートについてお知らせします。

「かるがもプロジェクト」は「信号のない横断歩道で待っていても、クルマが全然止まってくれない」ことについて、安全にするために『歩く人の側』から何か取り組めることはないかと考えて始めました。

2018年度、2019年度と二子玉川小西門前の横断歩道を渡る子どもたちからドライバーへ『横断したい気持ち』をわかりやすい『アクション』で伝え、コミュニケーションする方法を、子どもたちといっしょに学んできました。

こうした活動を踏まえ、2020年度は、保護者の皆さまにウェブアンケートにご協力いただきました。この通信では、その一部をご紹介します。
ご回答してくださった皆様、どうもありがとうございました。



二子玉川地区交通環境浄化推進協議会(交通浄化)とは

1986年から駐輪場の整備に関する活動、放置自転車対策など交通環境に関する様々な取り組みを行っている団体です。

主な活動としては、世田谷区の環境美化推進地区に指定されたことに伴い毎月1回の「クリーンタウン作戦」などを継続的に実施しています。また、交通安全対策にも力を入れており、2011年に実施した二子玉川商店街の交通安全に関するアンケート結果をきっかけに、2012年より交通部会を立ち上げました。

現在、町会、PTA、地域活動団体などのほかに、小学校、高校などの教育機関、大学などの研究機関とも連携しながら独自の交通安全についての調査活動、交通安全に関するPR活動、子ども達への教育プログラムなどを行っています。2014年には、東京都内では初となる住民発意によるゾーン30を実現しました。さらに、自転車のマナーアップキャンペーンや横断歩道の安全を守る「かるがもプロジェクト」、二子玉川のまちと交通の安全を守る「フタコレンジャー」など交通安全の活動を広げています。

交通部会

- ・ゾーン30の推進・啓発事業
- ・たまチャリルール啓発事業
- ・セグウェイの交通安全利用事業など

環境部会

- ・街の美化事業(クリーンタウン作戦)
- ・放置自転車対策事業など

調査の概要

★ かるがもウェブアンケート

期間 2020年12月～2021年1月
内容 クルマや自転車での行動調査

★ 横断歩道の実態調査

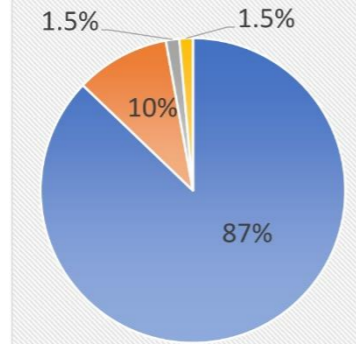
期間 2020年10月～2021年1月
内容 子どもが安全確認を実施した数の調査

1 ウェブアンケート

★ 横断歩道を渡りたい子どもがいる時のクルマの運転

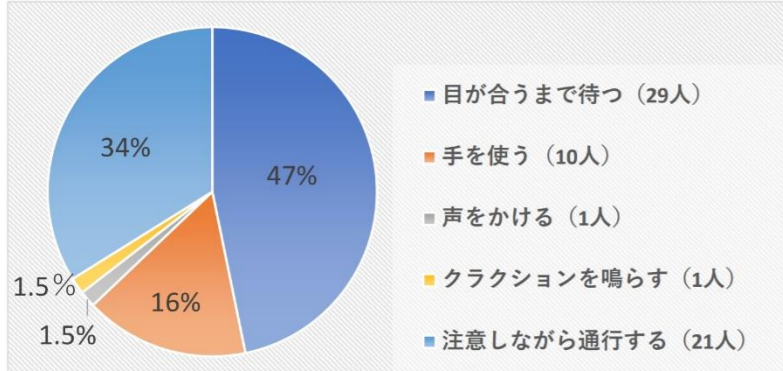
皆さんの回答は、
ほぼ『ゆずります！』
という回答でした。

(国士舘大学 寺内先生)



- 横断歩道手前で停車して、人が渡り終わってから通過する (61人)
- 減速して、人が渡り終わってから通過する (7人)
- クラクションを鳴らし注意喚起をして、先に通過する (1人)
- なにもせず、先に通過する (1人)

★ 横断歩道のそばに子どもが立っていて渡りたいか否かがわからない時のドライバーからの行動

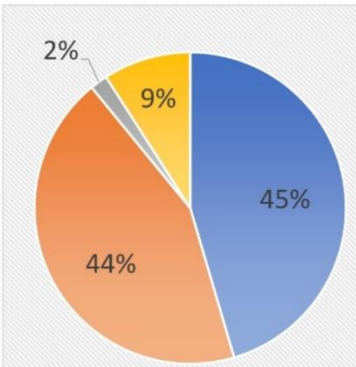


『目が合うまで待つ』という人が
多かったです。
ぜひ、ハンドサインもやってみて
ください！



★ 横断歩道を横断し始めている人がいる時の自転車の行動

自転車でも人に道をゆずるとい声が多く
寄せられました。実は自転車も危ないんで
す。『自転車でもゆずる』という
考えを広げていけるといいですね。



- 横断歩道手前で停車して、人が渡り終わってから通過する (25人)
- 減速して、人が渡り終わってから通過する (24人)
- ベルを鳴らし注意喚起をして、先に通過する (1人)
- 人に当たらないようにすり抜けて通過する (5人)



保護者の皆さんに聞いたアンケートはこんな結果でした！

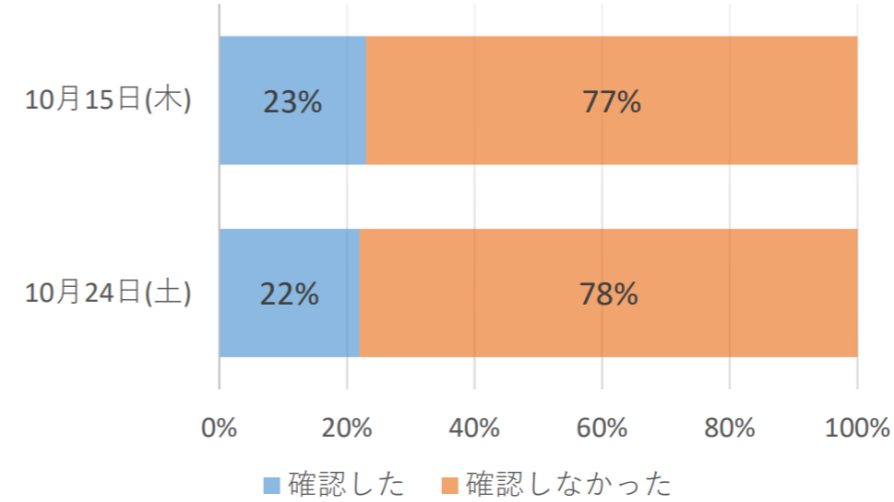
次に右のページでは、様々な人が行きかう実際の道での「実態」を調べてみました！

2 横断歩道の実態調査



★ 子どもが安全確認を実施した率

二子玉川小学校西門前の横断歩道で、登下校の様子を調査しました。



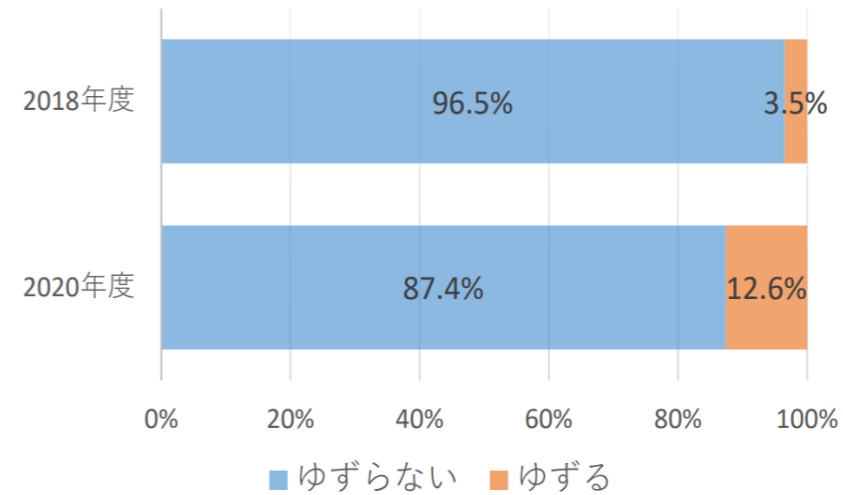
左右を見てから渡る児童は、2割程度でした。全員が『自分で安全を確認』してわたれるようになりましょう！

(校長先生)



★ 横断歩道で車が人に道をゆずる率の推移

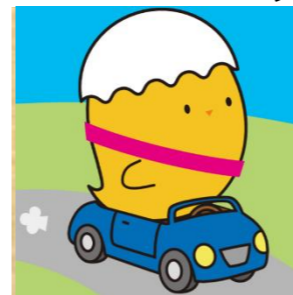
二子玉川小学校西門前の横断歩道でのクルマの様子を調査しました。
2018年と2020年の2回調査をしました。



現実には、まだまだ譲ってくれた
ドライバーが少数派です！
多くの人の運転が変わると良いで
すね。



アンケートにご協力いただき、ありがとうございました！



アンケート集計結果&動画「安全運転の巻」は、
ふたこたまご通信 Web にてご覧いただけます
<http://tamagawa30.info/>

